

2023年11月9日 開催予定

NISSOホールディングス株式会社
会社説明及び2024年3月期第2四半期
決算(日総工産株式会社分)説明会資料

 働きものを、幸せものに。
NISSOホールディングス

東証プライム市場 コード9332

目次

1

NISSOホールディングスについて

2

2024年3月期 第2四半期 **日総グループの業績概要**

3

2024年3月期 第2四半期 **主要事業会社（日総工産）の活動概況**

4

セグメント別業績について

5

今後の見通し(2024年3月期)

6

株主還元方針

7

補足資料

1

NISSOホールディングスについて

Setting our sails to the new frontier — 新領域へ —

2023年10月2日

NISSOホールディングスは
『52年目の産声』を上げました。

日総グループは、2023年10月「NISSOホールディングス株式会社」を設立し、純粋持株会社体制として新たな一歩を踏み出しました。

日総グループが更なる成長を遂げていくためには、意思決定の迅速化、戦略的・機動的なM&Aや資本政策、次のコアとなる事業機会の創出、経営資源の最適化などが必要と考えております。

グループ全体でシームレスな経営管理体制を確保しつつ、各事業会社が専門性を高め、得意分野に集中できるような環境を確保するとともに、人材は事業の中核を担う重要な資本との認識のもと「人づくり」や「職場づくり」といったウェルビーイング経営に取り組んでまいります。

日総グループは、皆さまとともに歩みを進め、常に選ばれる企業へと進化します。どうぞ、ご期待ください。



代表取締役社長執行役員兼CEO
清水 竜一



事業を支えてきた「人」を根幹としながら新たな領域を開拓

- 私たちを取り巻く経営環境やニーズはかつてない速さで変化。
- 持株会社体制により様々な課題に着手。

企業価値の向上
日総グループの更なる成長



各事業会社の
意思決定の
迅速化

戦略的・機動的なM&A、
資本業務提携

次のコアとなる
新サービスの
創出

経営資源の
最適化

ガバナンスの
更なる強化

HD体制への移行

名 称	NISSOホールディングス株式会社
上場日	2023年10月2日
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	9332
事業内容	製造派遣・製造請負、一般事務派遣・BPO、施設介護・在宅介護等の事業を営むグループ会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務等
設立年月日	2023年10月2日
本店所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目4番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員兼CEO 清水 竜一
資本金	2,016百万円
発行済み株式総数	34,024,720(株)
決算期	3月31日

- 日総グループの「サステナビリティサイト」を新設、掲載情報を充実化

<https://www.nisso-hd.com/sustainability/>



- 主要事業会社、日総工産にて自社求人サイトの新たなCMを公開

<https://www.nisso.co.jp/news/2794/>



- 日総グループが応援する神奈川大学が箱根駅伝の本戦に2年ぶりに出場決定！

<https://www.nisso.co.jp/column/2871/>



「提供：神奈川大学」

NISSO 日総工産株式会社

日総工産株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル

▶事業内容

製造系人材サービス（製造派遣、製造請負、職業紹介等）

Nisso Brain

いつも「ありがとう！」のとなりに。

日総ブレイン株式会社

神奈川県横浜市鶴見区豊岡町28-26
日総第一ビル

▶事業内容

事務系人材サービス



人と向き合い 人に寄り添う

日総ニフティ株式会社

日総ニフティ株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル

▶事業内容

施設介護事業、在宅介護事業

日総ぴゅあ株式会社

日総ぴゅあ株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル

▶事業内容

軽作業請負、物販
（日総工産株式会社 特例子会社）

Vector Shinwa 株式会社ベクトル伸和

株式会社ベクトル伸和

愛知県知立市池端3-1

▶事業内容

人材総合サービス

株式会社ニコン日総プライム

株式会社ニコン日総プライム

神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-2
新横浜214ビル3F

▶事業内容

人材派遣・人材紹介事業
人材シェアリング事業・受託・請負事業
高齢者の活躍機会創出及び働き続けられる仕組みの構築に関する企画・研究開発・運営・サポート

NISSO 上海電索人力資源服務有限公司

上海電索人力資源服務有限公司

上海市浦东新区学林路36号7号楼
508室

▶事業内容

人材紹介
人材コンサルティング

Leaf Nxt

株式会社リーフネクスト

東京都品川区東五反田1-4-1
ハニー五反田第2ビル4階

▶事業内容

人材派遣事業
育成型有資格者派遣事業
人材紹介プラットフォーム事業
メディアディレクション事業 等

経済アナリスト馬淵磨理子さんと対談を実施

ホールディングス化の狙いや、ありたい姿を目指す上で、具体化する対象（仲間）をどう考えているのか、今後の成長に向けた戦略、現在どんな追い風が吹いているのかなど、当社グループに関わる様々な内容をご紹介します。

皆さま、ぜひご覧ください。



経済アナリスト馬淵 磨理子が聞く！

NISSO 日総工産が
NISSOホールディングスへ
成長加速「一段上」に (9332)

動画公開中!!視聴はコチラ▶▶

https://www.nsjournal.jp/nsj_library/nisso-9332/

2

日総グループの業績概要 (2024年3月期 第2四半期)

2024年3月期 第2四半期 実績

- 売上高は第2四半期としては上場来、最高
- 営業利益は前年同期比で89.2%増加
- オートモーティブは部品不足が解消、生産が本格化
- セミコンダクターは低調、想定を上回る回復遅れ
- エンジニアはさらなるニーズへの対応に向け準備開始
(熊本研修施設の大幅増床を計画)
- 介護・福祉系サービスは前年同期比で増収増益

(単位：百万円)

ポイント

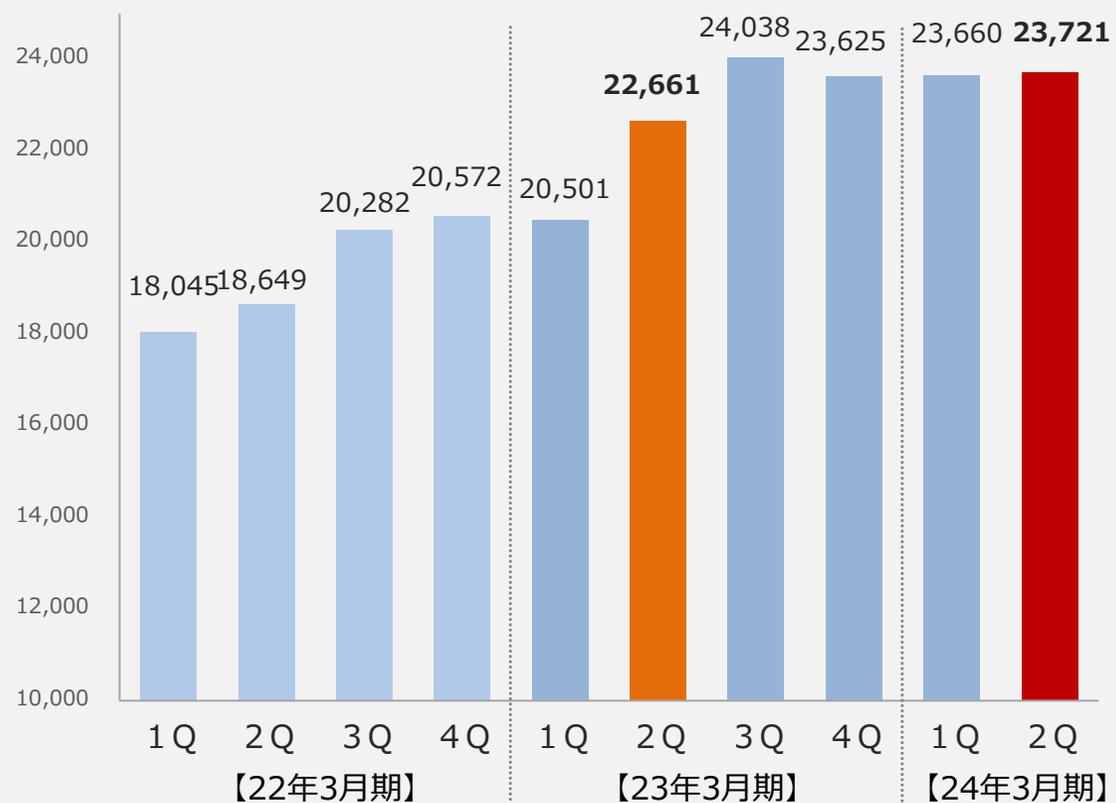
営業利益、対前年同期比89.2%増加

- 在籍人数の増加、オートモーティブの稼働回復もあり売上高は、9.8%増加。
- その他の事業（介護・福祉系サービス）は前年同期比で増収増益。

	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	43,162	100.0%	47,381	100.0%	4,219	9.8%
売上総利益	6,587	15.3%	7,420	15.7%	832	12.6%
販管費	6,077	14.1%	6,455	13.6%	377	6.2%
営業利益	510	1.2%	965	2.0%	455	89.2%
経常利益	582	1.3%	998	2.1%	416	71.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	347	0.8%	625	1.3%	278	80.1%

売上高

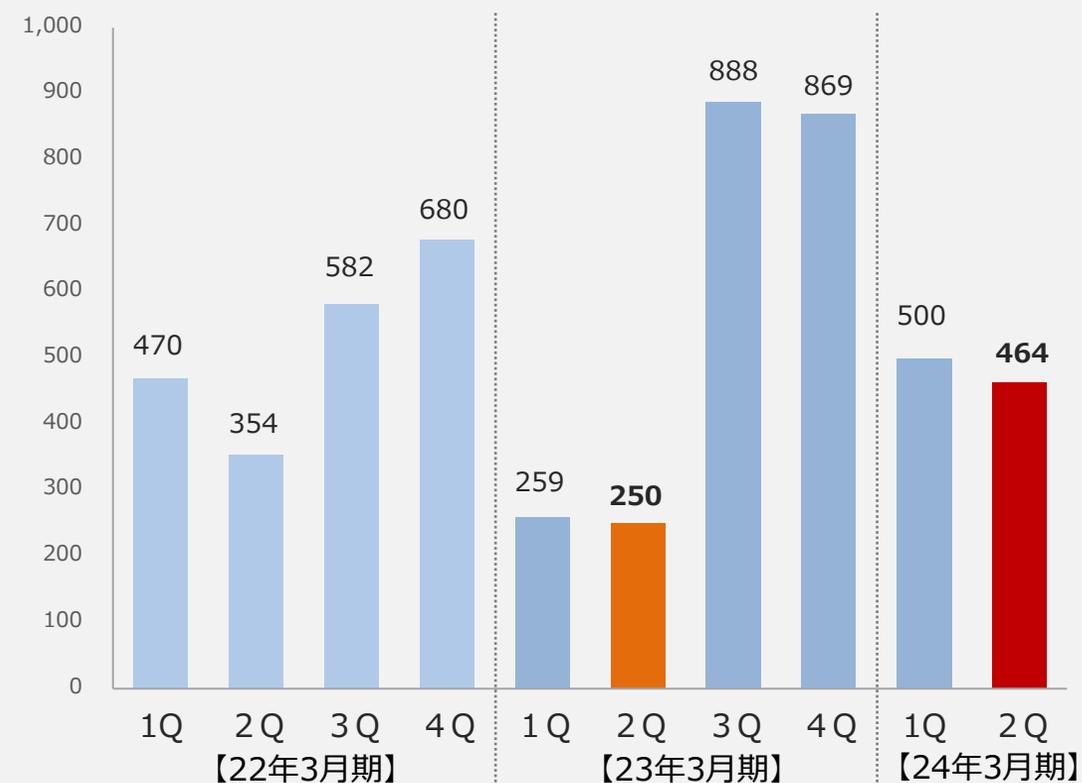
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

2Qは前年同期比85.5%増加



売上高について

対前年同期比7.0%増加

在籍人数の増加、オートモーティブの稼働回復もあり売上高は前年同期比で増加。

費用・利益面について

営業利益、66.0%増加

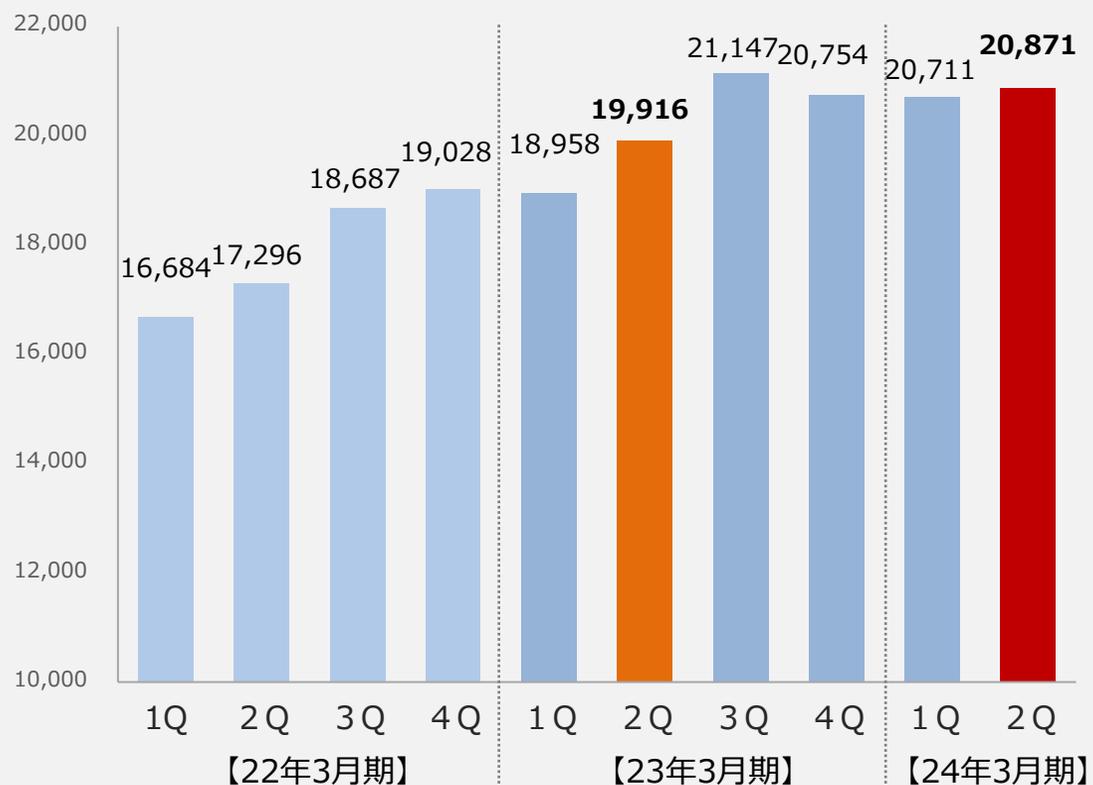
- オートモーティブで部品不足が解消、稼働が回復、売上総利益額が前年同期比で10.2%増加。
- 採用費効率化を継続、販管比率も前年同期比で0.3ポイント改善。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	38,875	100.0%	41,583	100.0%	2,708	7.0%
売上総利益	6,137	15.8%	6,764	16.3%	627	10.2%
販管費	5,582	14.4%	5,843	14.1%	261	4.7%
営業利益	554	1.4%	921	2.2%	366	66.0%
経常利益	627	1.6%	938	2.3%	310	49.5%
四半期純利益	385	1.0%	604	1.5%	219	56.9%

売上高

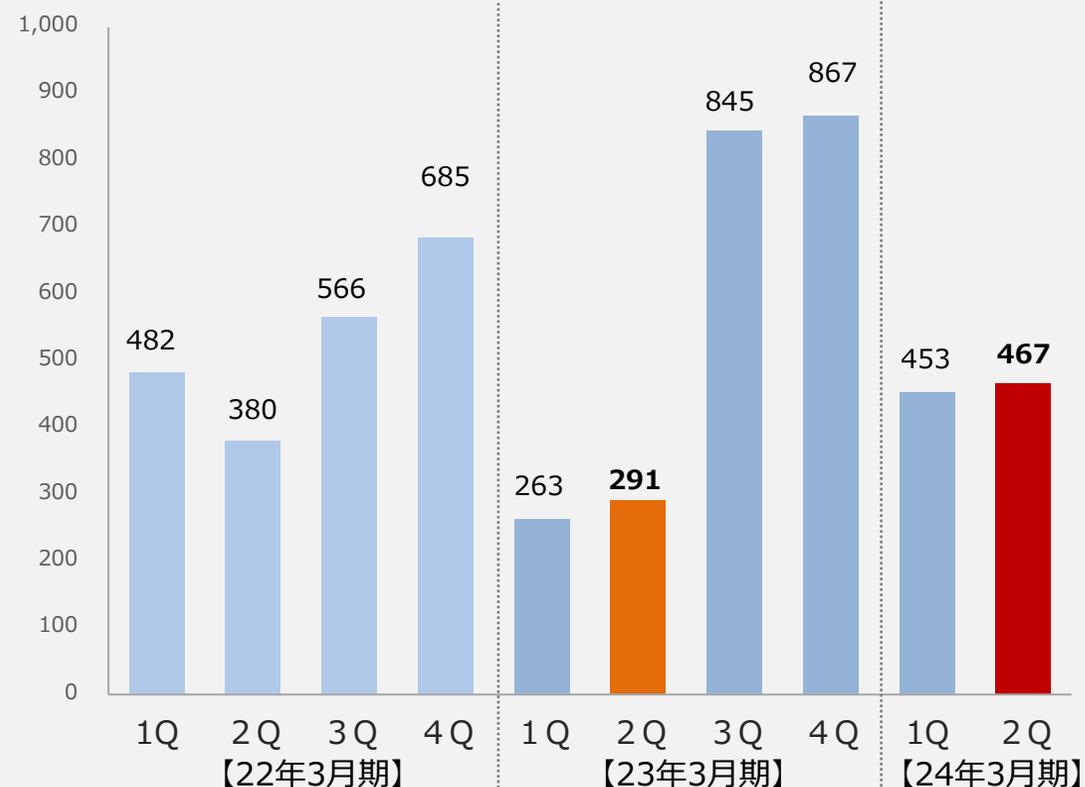
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

2Qは前年同期比60.5%増加



3

主要事業会社（日総工産）の活動概況（2024年3月期 第2四半期）

主要事業会社（日総工産）業績サマリー

売上高	41,583百万円	（前年同期比 +2,708百万円 / +7.0%）
営業利益	921百万円	（前年同期比 +366百万円 / +66.0%）

主要事業会社（日総工産）各指標サマリー

● 注カインダストリー売上高（前年同期比）

注カインダストリー合計 …+5.9%

- ・オートモーティブ、セミコンダクター、エレクトロニクスの合計である注カインダストリーの売上高は、前年同期比で5.9%増加。

● 期末在籍人数

16,158名（前年同期比+428名）

- ・在籍人数は、前年同期比で428名増加。
- ・オートモーティブは順調に増加。エレクトロニクスは一部回復傾向。

● 一人当たりの月平均売上高

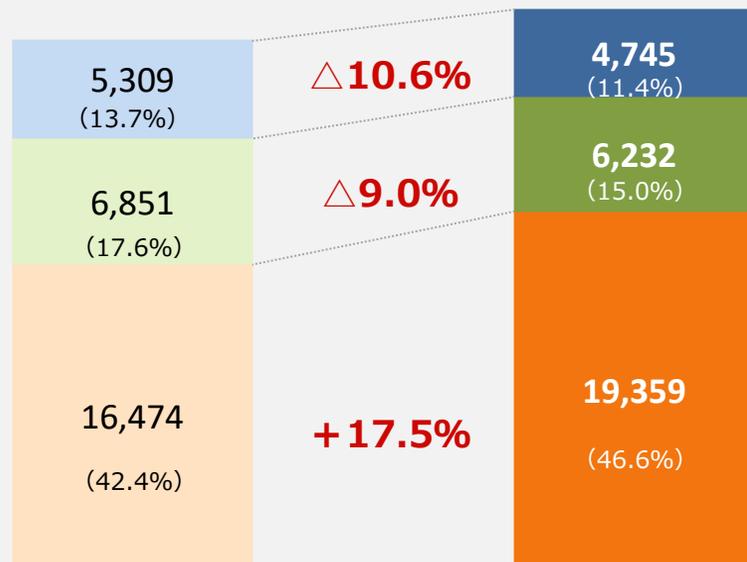
428千円（前年同期比+10千円）

- ・一人当たりの月平均売上高は、オートモーティブの稼働回復もあり、前年同期比で2.4%増加。

売上高構成比

(単位：百万円)

■ オートモーティブ ■ セミコンダクター ■ エレクトロニクス



※ () 内%は日総工産売上高比、赤字の%は、前期比伸長率

	売上高	稼働動向	要員動向
エレクトロニクス (電子機器製造業界)	前年同期比で 10.6%減少	低調も一部 回復傾向	低調も一部 回復
セミコンダクター (半導体製造業界)	前年同期比で 9.0%減少	製造装置・ 半導体メモリは低調・ パワー半導体は堅調	低調
オートモーティブ (自動車製造・EV関連製造業界)	前年同期比で 17.5%増加	部品不足の 影響は解消	堅調

オートモーティブインダストリー
(自動車製造・EV関連製造業界)

セミコンダクターインダストリー
(半導体製造業界)

エレクトロニクスインダストリー
(電子機器製造業界)

上期

下期

設備投資

徐々に拡大

拡大

横ばい

生産動向

生産の増加は足踏み

製造装置・メモリは低調
パワー半導体は堅調

セミコンダクターと連動し低調

稼働動向

部品不足の影響は継続

稼働は低調

稼働は低調

要員動向

堅調

低調

低調

設備投資

拡大

更に拡大

徐々に拡大

生産動向

部品不足も解消し繁忙

製造装置は回復に遅れ
メモリは低調

セミコンに次いで回復

稼働動向

稼働は完全に回復

製造装置は回復に遅れ
メモリは低調

セミコンに次いで回復

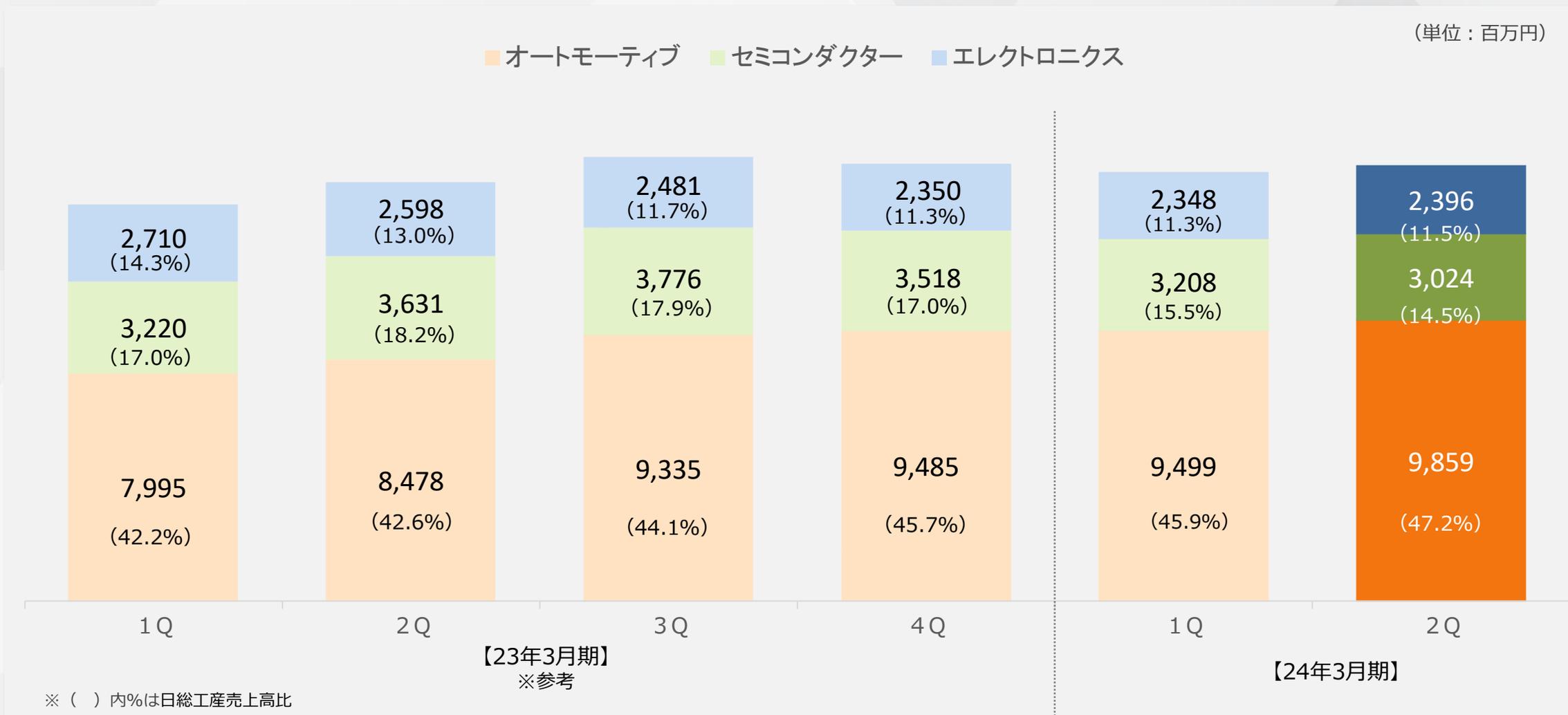
要員動向

堅調

低調

セミコンに続いて徐々に増加

2024年3月期 四半期単位インダストリー別売上高（日総工産）

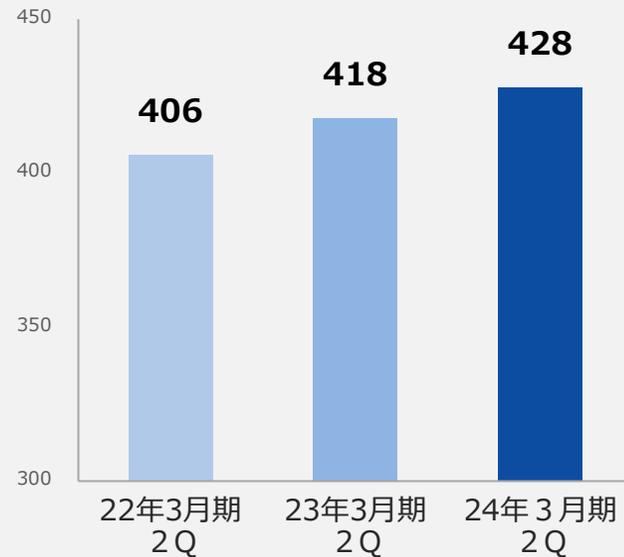


一人当たりの月平均売上高（日総工産）

- 2024年3月期 2Q累計 一人当たりの月平均売上高 428千円（前年同期比 +10千円）
- 一人当たりの月平均売上高は、オートモーティブの稼働回復もあり前年同期比で増加。

一人当たりの月平均売上高

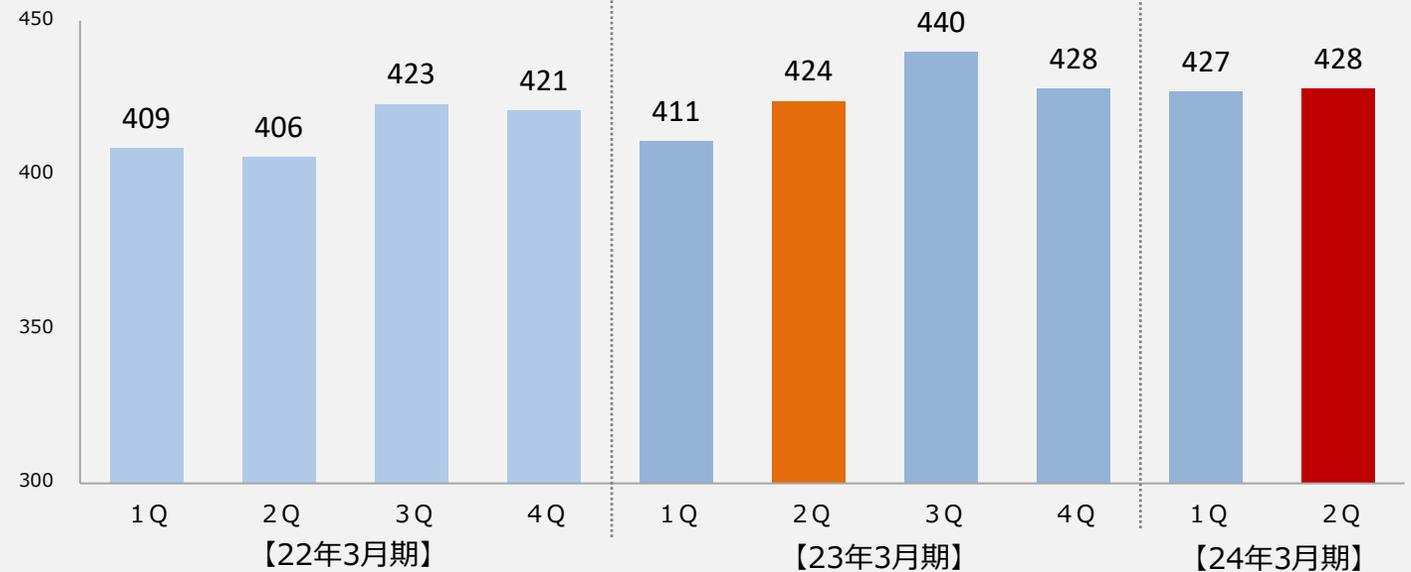
（単位：千円）



一人当たりの月平均売上高

（四半期単位）

（単位：千円）



前年同期比

+428名（+2.7%）

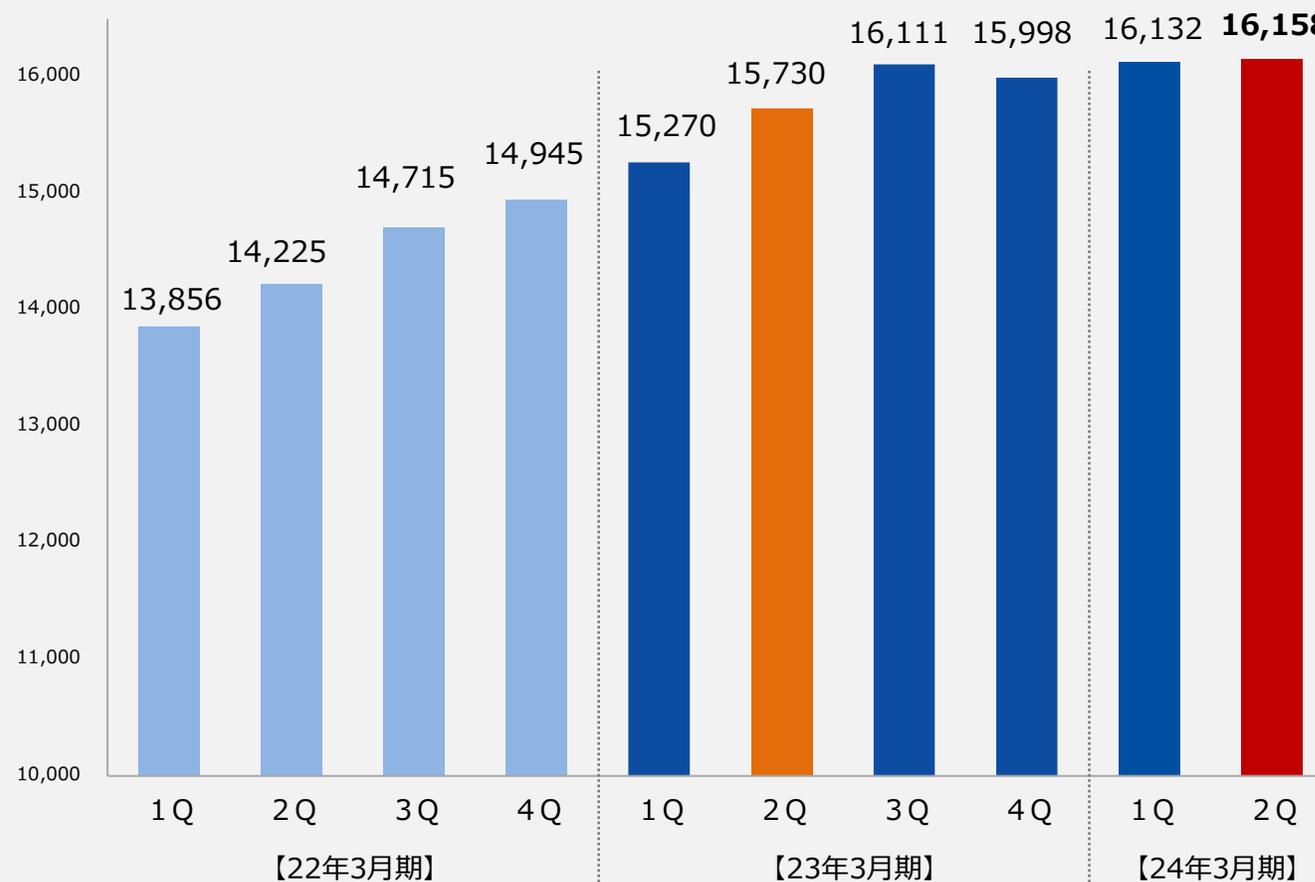
ポイント

上場来、最高在籍を更新

セミコンダクターは低調も、オートモーティブの人材ニーズが堅調により、在籍人数は増加。

期末在籍人数

（単位：名）



ポイント

- 全体の受講者数は、エレクトロニクスインダストリー、セミコンインダストリーの生産低調の影響を受け、前年同期比で減少。
- e-ラーニングシステムの本格運用により、受講進捗、理解度をリアルタイムで把握、研修を効率化。

● 2024年3月期 第2四半期 教育実績（延べ人数）※全従業員対象

（単位：名）

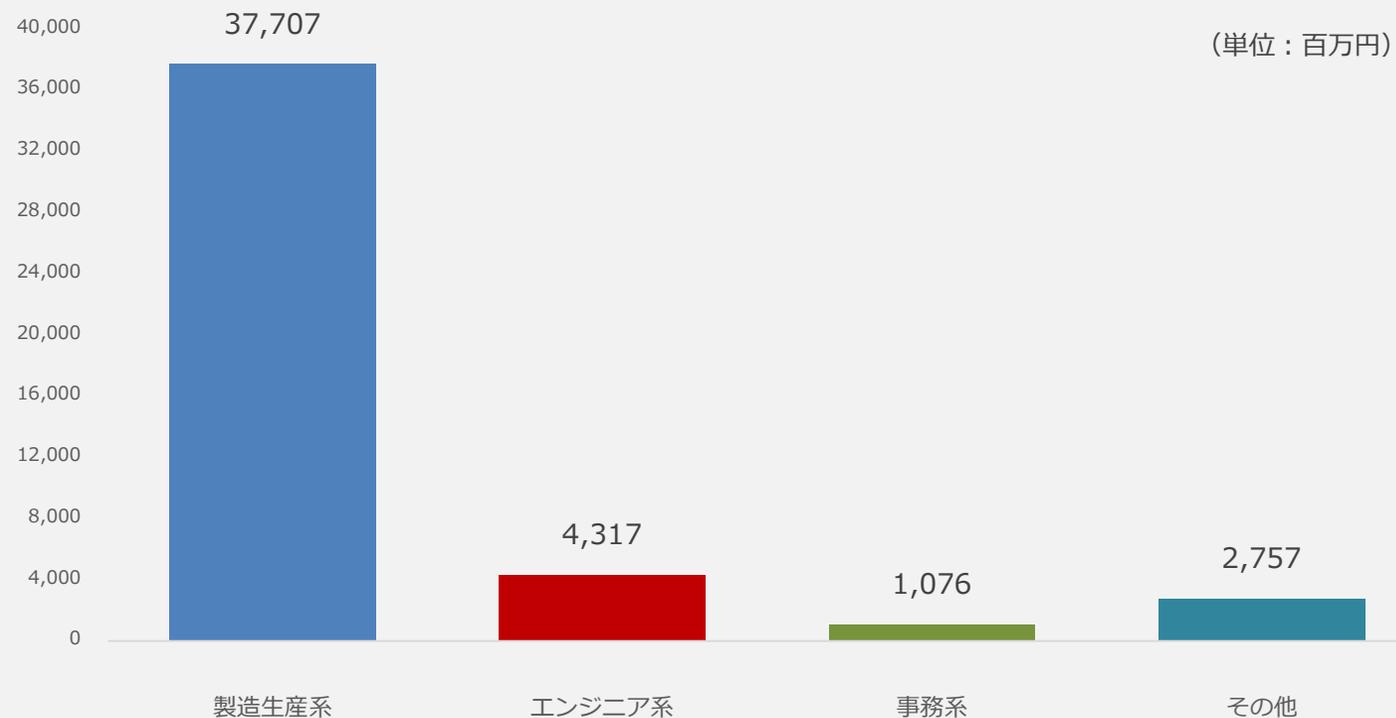
区分	研修内容	23年第2四半期 累計	24年第2四半期 累計	前年同期比 比較
(直接系) エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	1,211	776	64.1%
(直接系) その他の研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	9,255	8,544	92.3%
間接系研修	ビジネスマナー キャリアアップ ライフプラン 半導体セミナー等	472	382	80.9%
	合計	10,938	9,702	88.7%

4

セグメント別業績について (2024年3月期 第2四半期)

2024年3月期 第2四半期 総合人材サービス事業

2024年3月期 第2四半期 その他の事業



売上高について

2 Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加もあり、前年同期比で5.3%増加。

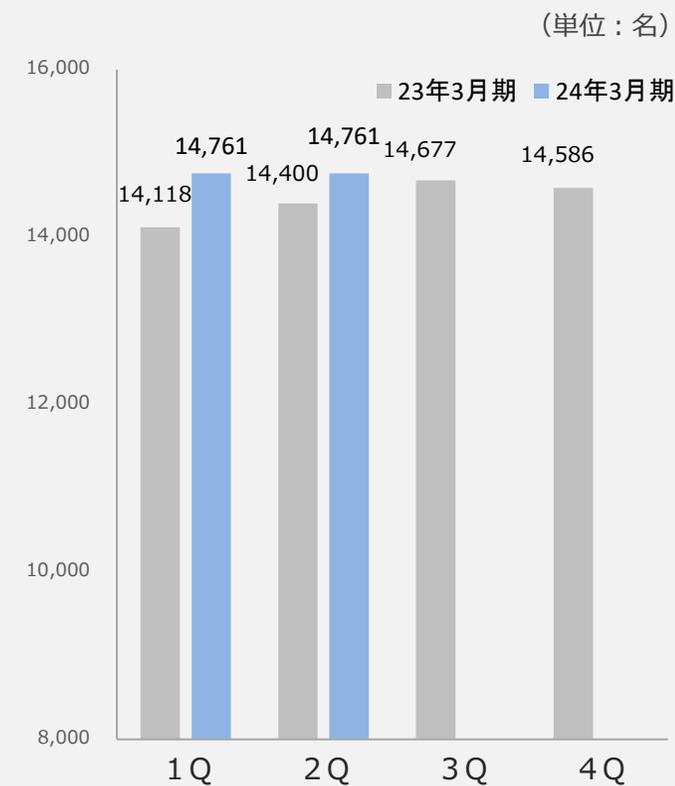
在籍人数について

製造生産系の在籍人数は、前年同期比で361名増加。

製造生産系 売上高



製造生産系 期末在籍人数



一人当たりの月平均売上高について

製造生産系の一人当たりの売上高は、前年同期比で3.6%増加。

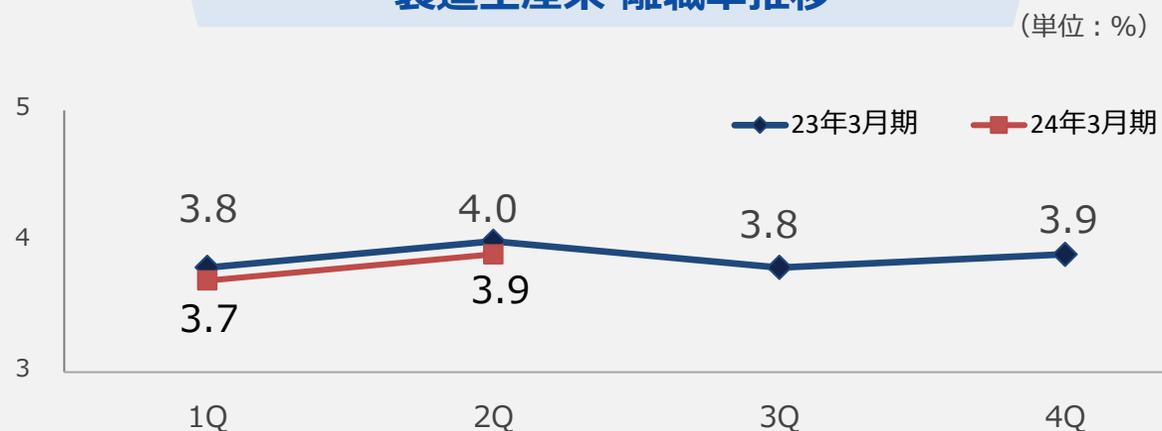
製造生産系 一人当たりの月平均売上高



離職率について

製造生産系の離職率は、前年同期比で0.1P改善。4%未満を維持。

製造生産系 離職率推移



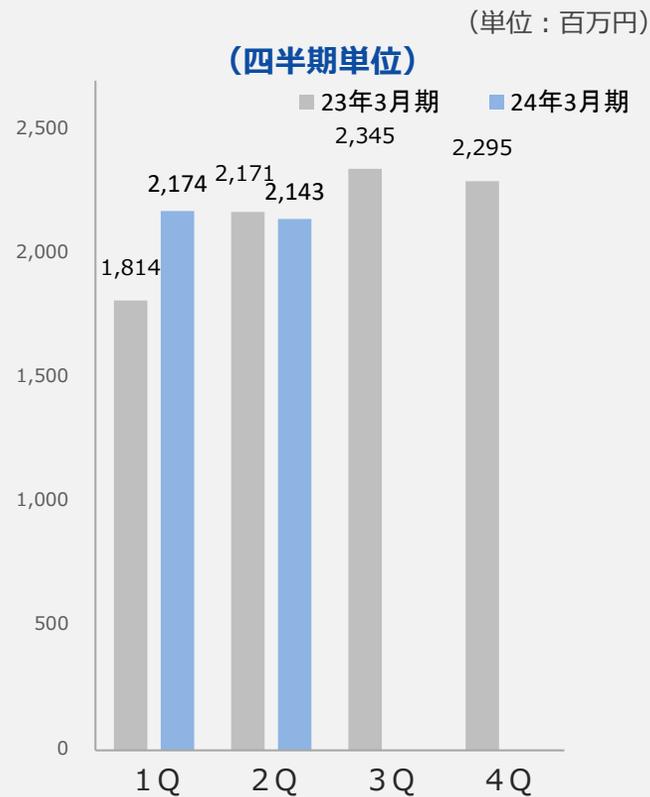
売上高について

2Qのエンジニア系の売上高は、前年同期比で在籍人数は増加も、一人当たりの売上高減少により1.3%減少。累計では、前年同期比で8.3%増加。

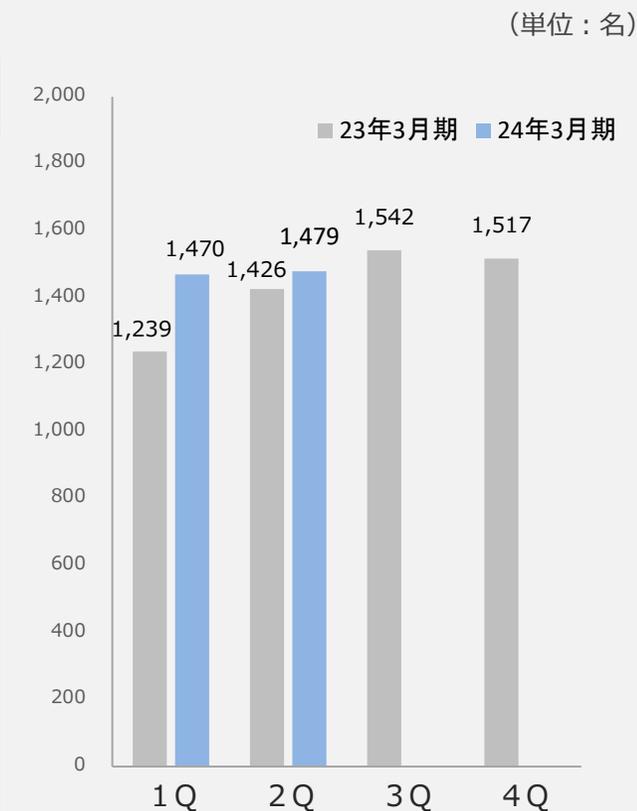
在籍人数について

- エンジニア系の在籍人数は、前年同期比で53名増加。半導体装置・メモリが低調も取引先拡大により微増。
- 各インダストリーニーズに対応するため、さらなる人材育成に向けた準備を開始。

エンジニア系 売上高



エンジニア系 期末在籍人数

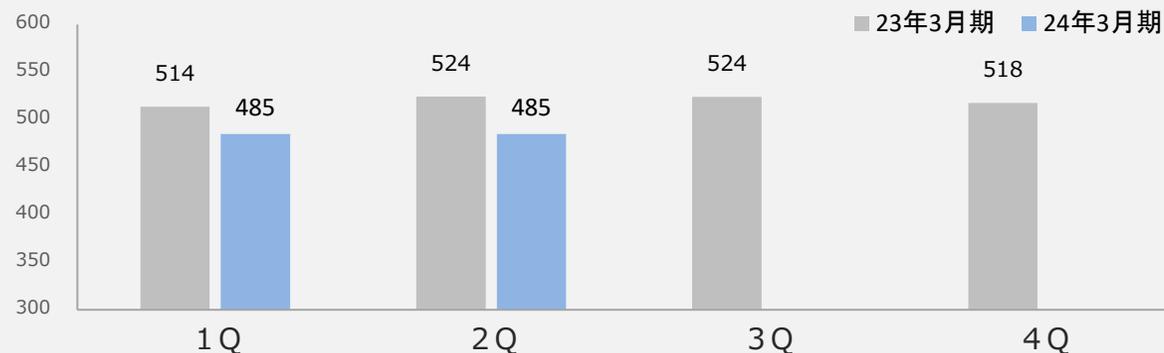


一人当たりの月平均売上高について

エンジニア系の一人当たりの売上高は、半導体装置・メモリの低調より前年同期比で減少。

エンジニア系 一人当たりの月平均売上高

(単位：千円)



離職率について

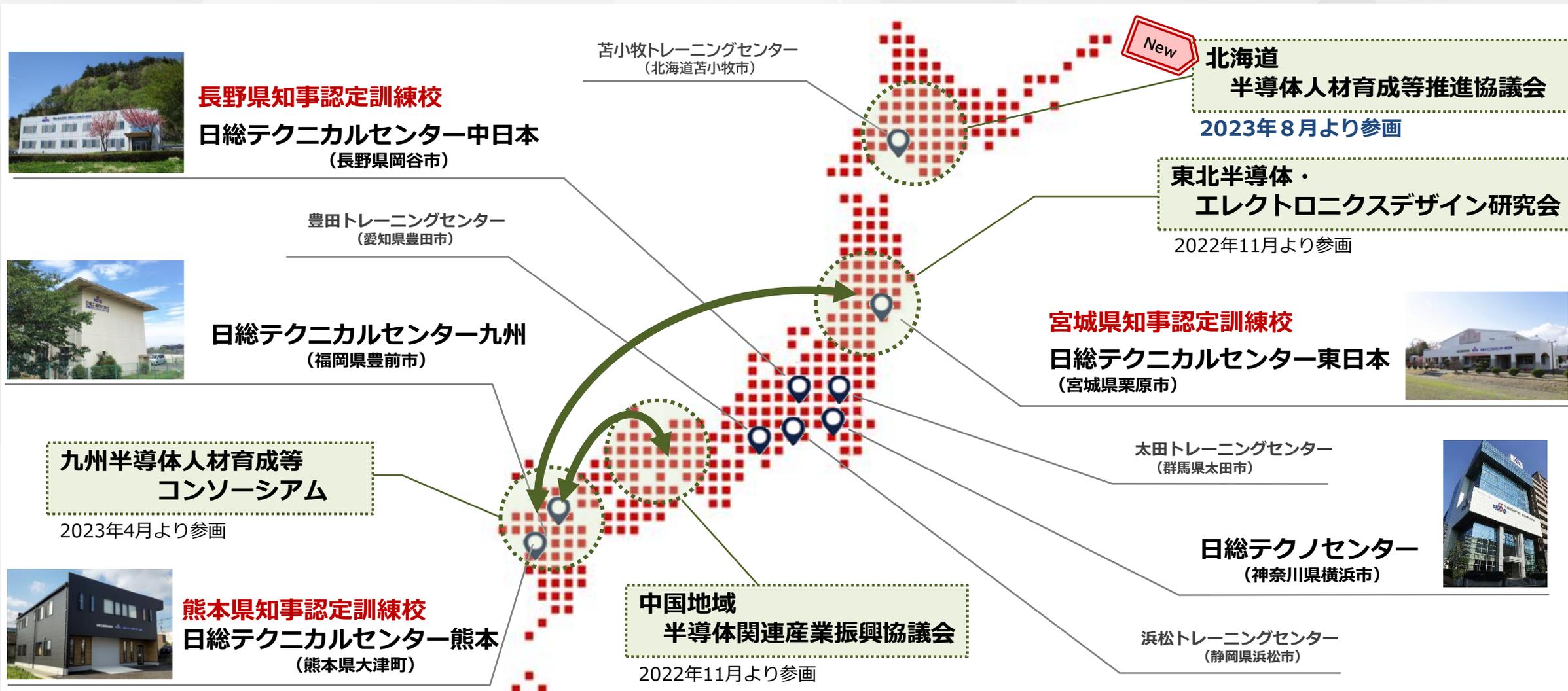
エンジニア系の離職率は、前年同期比、同水準。

エンジニア系 離職率推移

(単位：%)



自社研修施設の全国拡大と産官学連携により高付加価値人材を輩出



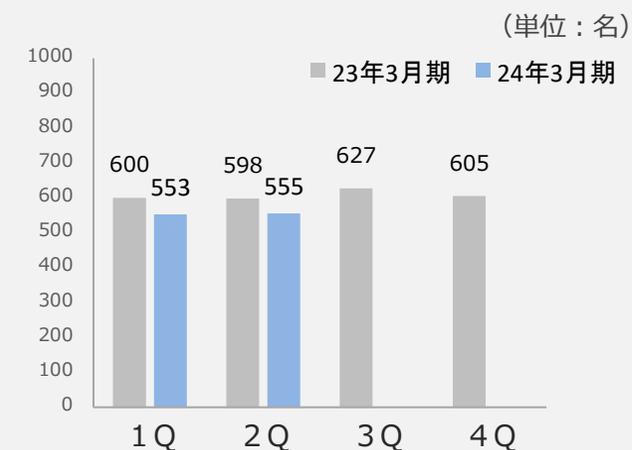
事務系人材サービスについて

2Qの事務系の売上高は、在籍数の減少もあり前年同期比で5.6%減少。

事務系 売上高



事務系 期末在籍人数



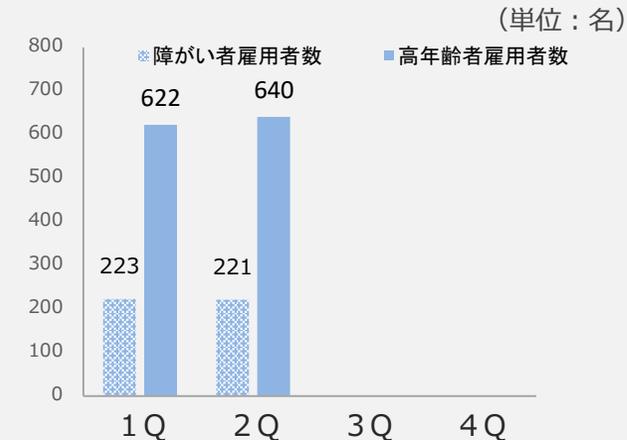
その他の人材サービスについて

- ・株式会社ニコン日総プライムは高年齢者社員の活躍を支援。
- ・高年齢者社員数は640名。
- ・日総ぴゅあ株式会社は、多様な人材が活躍できる職場環境を構築。
- ・障がい者社員数は221名。

その他 売上高



高年齢者・障がい者在籍人数



ポイント

- 介護施設全体の入居率は、94.0%と安定して推移。
- 売上高は、前年同期比で1.9%増加。営業利益は44百万円の黒字。

● 介護・福祉系サービス実績

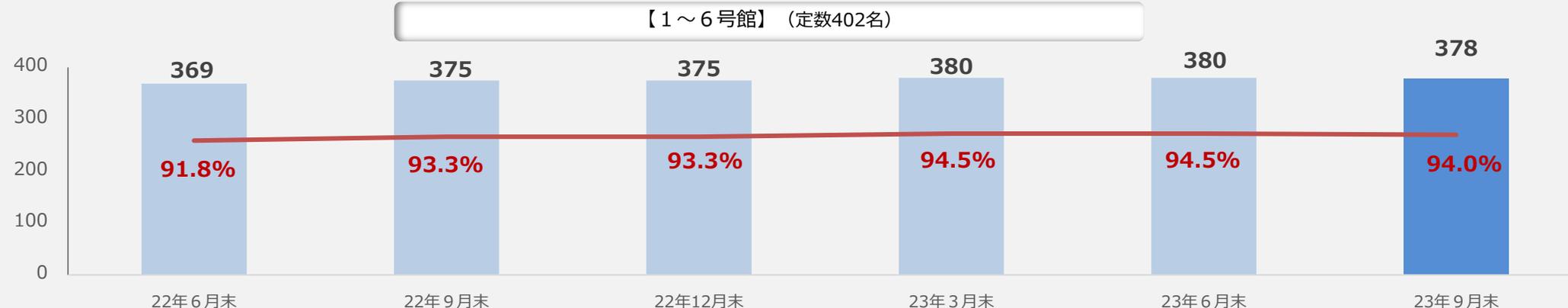
(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	対前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	1,503	1,531	28	1.9%

施設入居者数

(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



インターステラテクノロジズにエンジニアが在籍出向

- 当社の主要事業会社である日総工産は、ロケットベンチャー企業であるインターステラテクノロジズ株式会社（IST）に対し、今後の活躍が期待される研究開発エンジニア1名を在籍出向。
- 出向期間は2年間。
- ISTでは機械・電気電子領域の試験などを担当。



第2回ものづくりODM/EMS展に出展

- 当社の事業内容の理解促進を目的として、第26回ものづくりワールド大阪、ものづくりODM/EMS展に出展（2023年10月4～6日）
- 技術系（電池系）メーカーを中心に約550名の方が来訪。
- 高付加価値領域の拡大に向けて東京開催に続き、今期2度目の展示会出展。



e-ラーニングシステムの活用拡大

- 自社開発e-ラーニングシステムの社内運用を経てコンテンツが充実。
- 名称を『Start engineer』とし、業務提携先と共に一般向け販売を開始予定。

Start engineer 3つの特長

01
短期間で学べる!

業務を行うために必要なカリキュラムだけを用意しているため、短い研修期間で幅広いエンジニアの知識を身につけることができます。

02
ゼロから学べる!

技術知識ゼロ、経験ゼロの方にとって分かりやすいように、動画やアニメーション、イラストや図表を取り入れて解説をしています。

03
仕事で活かせる!

業務開始時に、学習したことを覚えて知識を使える状態にするために、確認テストや復習レポートを多く用意し、記憶に残る設計になっています。

日総グループ成長サイクルの実現に向けて

－ 急激な顧客環境変化 －



EV化やDX化への対応

積極的な産官学連携

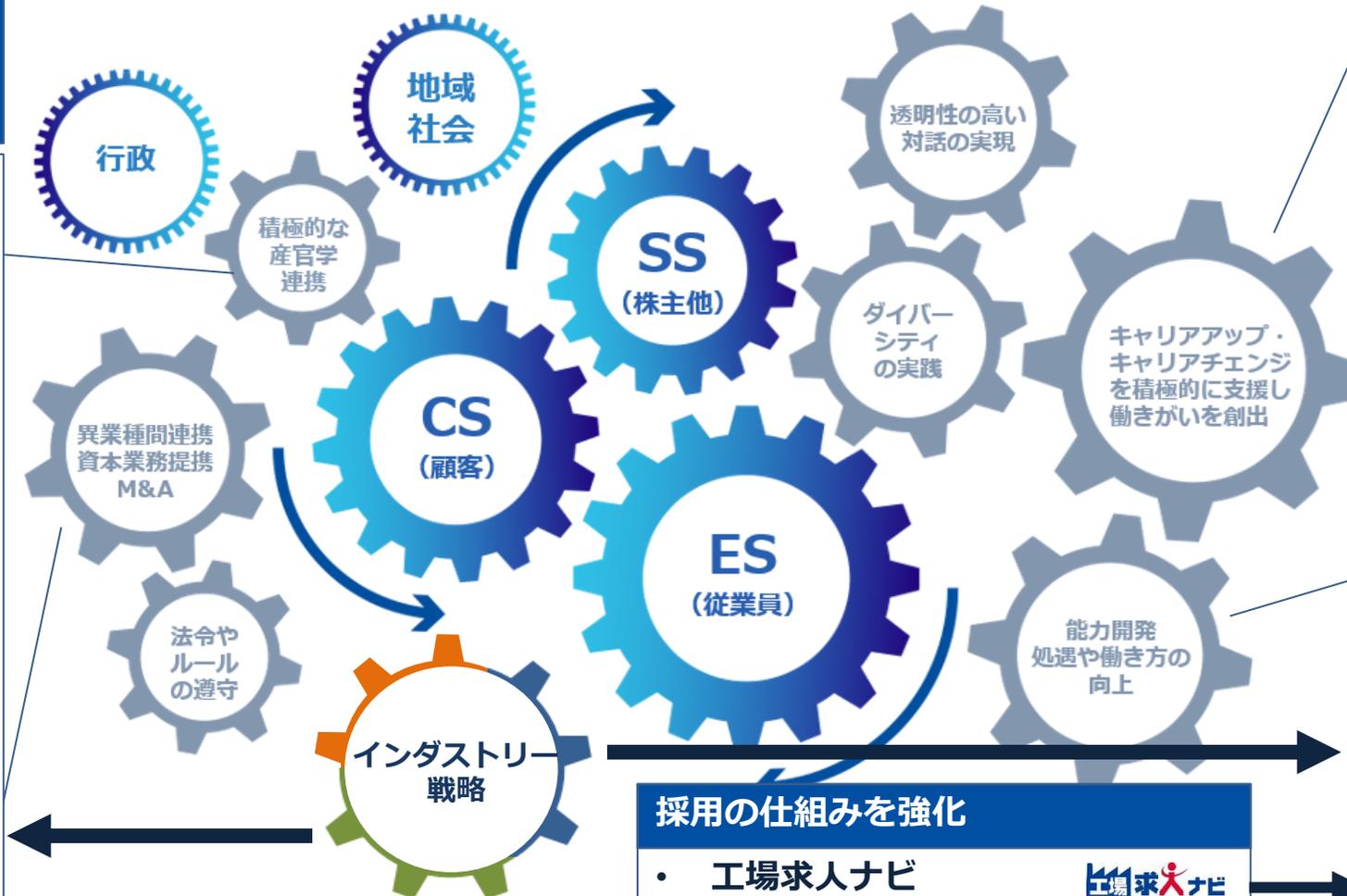
- ・東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会
- ・中国地域半導体関連産業振興協議会
- ・九州半導体人材育成等コンソーシアム
- ・北海道半導体人材育成等推進協議会 New

新たな接点の獲得

- ・ものづくりワールド2023への出展（東京・大阪） New
（当社の事業内容の理解促進）

異業種との連携

- ・ドクターズとの資本業務提携
- ・インターステラテクノロジズへの出資・パートナーシップ協定



人材流動化への対応

- ・MRIとの共同研究

高度人材育成

半導体人材育成

- ・宮城県知事認定訓練校
日総テクニカルセンター東日本
- ・長野県知事認定訓練校
日総テクニカルセンター中日本
- ・熊本県知事認定訓練校
日総テクニカルセンター熊本

他人材育成施設
・全国に6か所

人材育成の高効率化

- ・e-ラーニングシステムを開発
（一般への販売を準備）

採用の仕組みを強化

- ・工場求人ナビ
- ・エンジニアワークス

5

今後の見通し (2024年3月期)

当社の連結業績につきましては、日総工産が2023年5月11日付で公表した通期連結業績予想をもとに持株会社設立による影響を加味し算出したしましたが、開示数値に変更はございません。

■ 2024年3月期通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	23.3期実績		24.3期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	90,827	100.0%	100,000	100.0%	9,172	10.1%
営業利益	2,268	2.5%	3,600	3.6%	1,331	58.7%
経常利益	2,349	2.6%	3,600	3.6%	1,250	53.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,622	1.8%	2,300	2.3%	677	41.8%

6

株主還元方針

基本方針

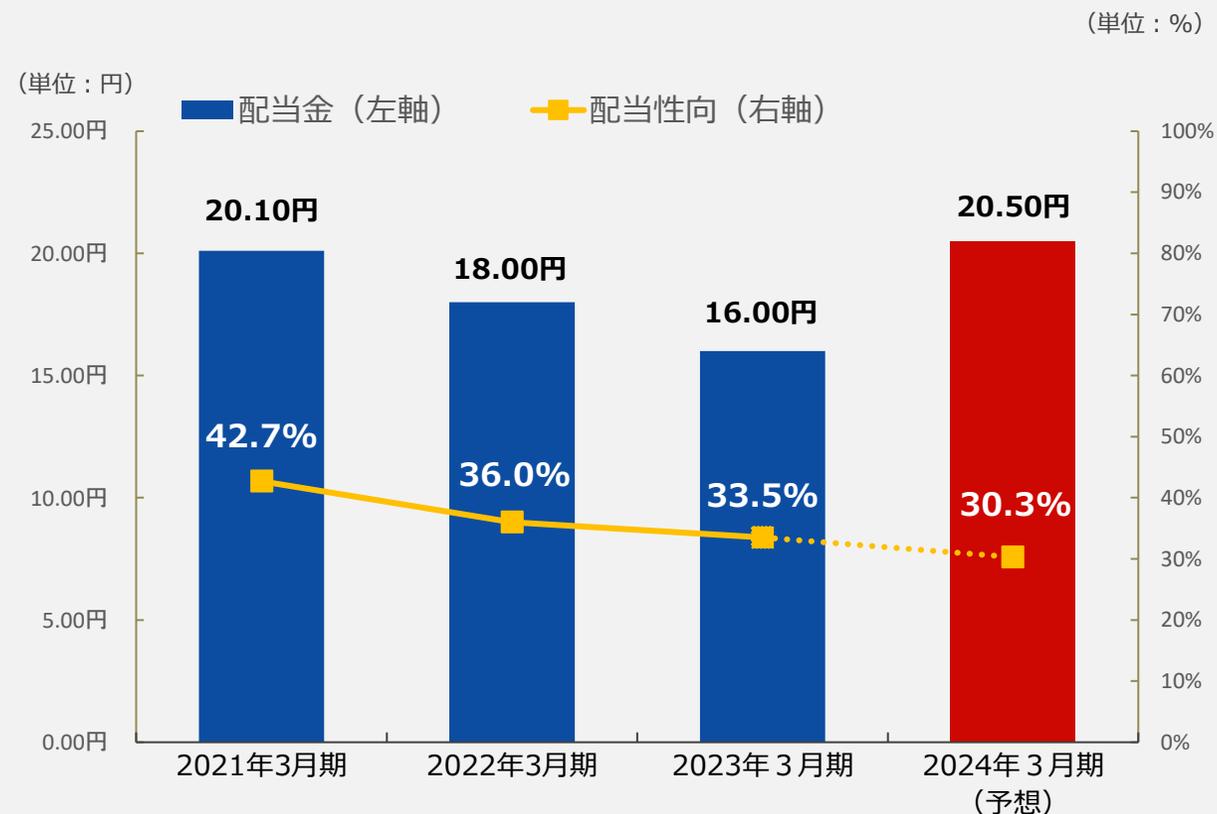
当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2024年3月期の配当予想

一株当たり配当金額は20.50円を（連結配当性向は30.3%）を予定しております。

また株主優待制度は継続いたします。

配当金と配当性向



※2021年3月期の配当金には、創業50年記念配当5円00銭を含んでおります。
※2023年3月期までは、持株会社体制となる前の日総工産株式会社の数値を掲載しております。

7

補足資料

連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	23年3月末		23年9月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	21,747	72.3	25,055	75.0	3,307
現金及び預金	9,800	32.6	12,469	37.3	2,669
売掛金	10,986	36.5	11,655	34.9	668
固定資産	8,344	27.7	8,348	25.0	3
有形固定資産	4,660	15.5	4,659	13.9	▲1
無形固定資産	1,514	5.0	1,430	4.3	▲83
投資その他の資産	2,169	7.2	2,258	6.8	89
資産合計	30,092	100.0	33,403	100.0	3,311
流動負債	12,187	40.5	15,652	46.9	3,465
短期借入金	—	—	3,000	9.0	3,000
未払費用	6,119	20.3	6,683	20.0	564
賞与引当金	1,395	4.6	1,459	4.4	64
固定負債	3,097	10.3	2,856	8.6	▲240
長期借入金	2,019	6.7	1,773	5.3	▲245
負債合計	15,284	50.8	18,509	55.4	3,224
株主資本	14,563	48.4	14,645	43.8	81
非支配株主持分	239	0.8	242	0.7	2
純資産合計	14,807	49.2	14,894	44.6	86
負債純資産合計	30,092	100.0	33,403	100.0	3,311

Point

①稼働人数拡大による増加

製造系人材サービスの稼働人数拡大他により、流動資産の「売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加しました。

②資金調達

新規の借入により、流動資産の「現金及び預金」及び流動負債の「短期借入金」が増加しました。

③全体

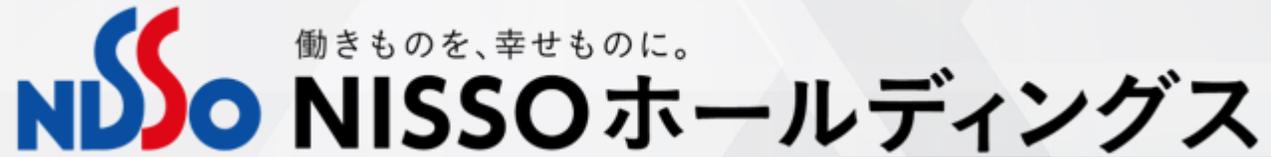
上記の結果、前期末比で資産合計が11.0%増加、負債合計が21.1%増加、純資産合計が0.6%増加となり、自己資本比率43.9%となりました。

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96	673	770
投資活動によるキャッシュ・フロー	113	△212	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△863	2,208	3,071
現金及び現金同等物の増減額	△846	2,669	3,515
現金及び現金同等物の期首残高	8,773	9,800	1,026
現金及び現金同等物の期末残高	7,927	12,469	4,542

Point

- ① 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益998百万円等の収入で売上債権の増加額668百万円等の支出を吸収し、673百万円の収入となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出138百万円等により、212百万円の支出となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金の純増減額3,000百万円の収入で配当金の支払額544百万円等の支出を吸収し、2,208百万円の収入となりました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社 IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso-hd.com>